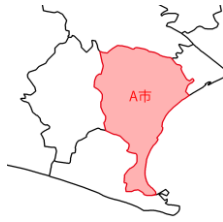
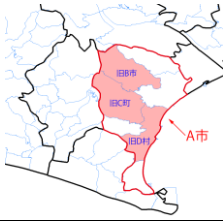




災害事例ID		1985-06-30_ND1985001_Rxxxxx_JP14205-014006-13				範囲精度 *2 A
現在の自治体名*1		神奈川県 藤沢市（地方公共団体コード：JP14205） 代表点座標：35.33894, 139.491116				
災害名称		気象庁：*梅雨前線豪雨及び台風第6号				
災害の種類		風水害（洪水，台風）				
自然現象		風水害	気象現象：台風8506号 最大風速：30.3 m/s（昭和60年7月1日 3:43） 期間降水量：177 mm，地点：南消防署（昭和60年6月30日 0:00 ～ 昭和60年7月1日 6:00）			
発生時期	発生日	1985年6月30日（昭和60年6月30日）				
	災害の継続期間	1985年6月30日（昭和60）～ 1985年7月1日（昭和60）（発生期間）				
被害詳細	建物被害	住家被害	半壊	2 棟	一部損壊	38 棟
		非住家被害		48 棟		
		浸水被害	床上浸水	5 棟	床下浸水	25 棟
出典資料		藤沢市消防本部（2009）：消防年報 2009年(平成21年)版，p114.				

*1：2013（平成25）年1月1日時点

災害事例ID		1985-06-30_ND1985001_Rxxxxx_JP14205-014006-13
風水害	気象現象	台風8506号
	最大風速	30.3 m/s (昭和60年7月1日 3:43)
	期間降水量	177 mm, 地点: 南消防署 (昭和60年6月30日 0:00 ~ 昭和60年7月1日 6:00)

*2：範囲精度の解説

範囲精度	事例の地理的な範囲の用例	事例範囲のイメージ
A	事例レコードの地理的範囲と災害統計値の集計エリアとが同一。	
B	事例レコードの地理的範囲(現在のA市)は、災害発生当時の旧市町村エリアよりも大きいため、実際には災害が発生していない地域も含む。	
C	出典資料に事例レコードの地理的範囲に関する記述が無く、正確な範囲が不明。(例:非常に古い災害、河川の流域)	
D	事例レコードおよびその周辺地域(隣接自治体までの範囲)を含む範囲で、かつ、事例レコードの範囲に関する情報を抽出できない。この場合、事例レコード内での被害状況は事実よりも過剰な記述となる。	
E	事例レコードを含む広域(郡、県、山麓レベル)の範囲で、かつ、事例レコードの範囲に関する情報を抽出できない。	県・地方単位